

平成27年度第4回県政参画電子アンケート 「建築物のバリアフリー化に関するアンケート」調査結果

1 調査概要

- ・テーマ:「建築物のバリアフリー化に関するアンケート」
- ・実施期間:平成27年10月20日～平成27年11月1日
- ・対象:県政参画電子アンケート会員
- ・回答: 671名/812名 (回答率 82.6%)

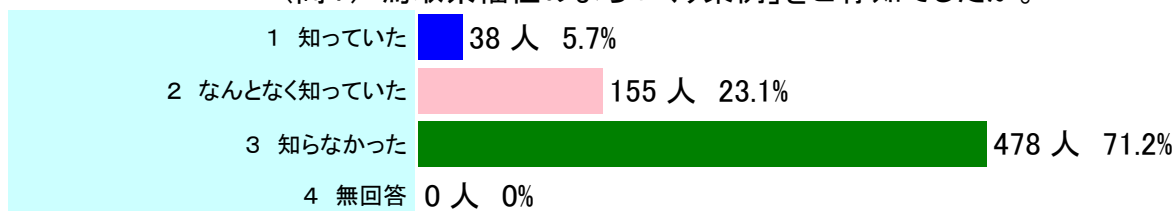
2 調査目的

建築物のバリアフリー化を目的とした「鳥取県福祉のまちづくり条例」は、平成19年にバリアフリー法に基づく条例として全部改正されていますが、そこから8年が経過したことから、福祉のまちづくりのより一層の推進を図るため、施設の整備基準に付加する事項を見直し、より実効性を高めようとしています。

さらに、平成26年度に開催された「障がい者芸術・文化祭とっとり大会」によるバリアフリーにかかわる機運の高まりに加え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や鳥取県においても2016年の第27回日本パラ陸上競技選手権大会開催の決定など、競技場のほか、広く集客が見込まれる施設のバリアフリー化の必要性が高まっています。

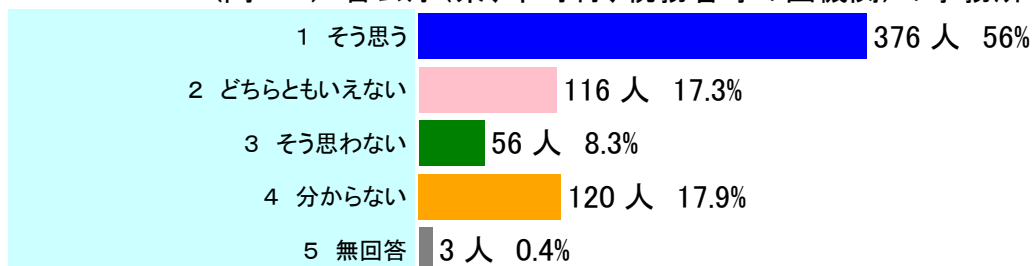
については皆様の建築物のバリアフリー化についての意識についてのアンケートを実施し、条例を改正するにあたり参考とさせていただきたく思いますので、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

(問1)「鳥取県福祉のまちづくり条例」をご存知でしたか。



【問2】次のそれぞれの分野において、車いす使用者に対するバリアフリー化が進んできていると思いますか。 (あまり行く機会がない等で回答に迷う場合は「4 分からない」を選択してください。)

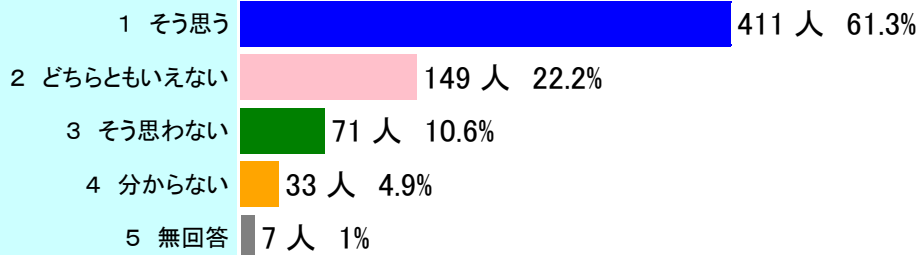
(問2-1) 官公庁(県、市町村、税務署等の国機関)の事務所・窓口



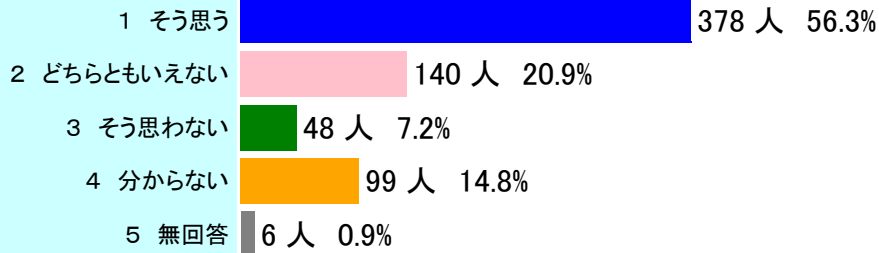
(問2-2) 教育施設(小学校、中学校、高校や特別支援学校など)



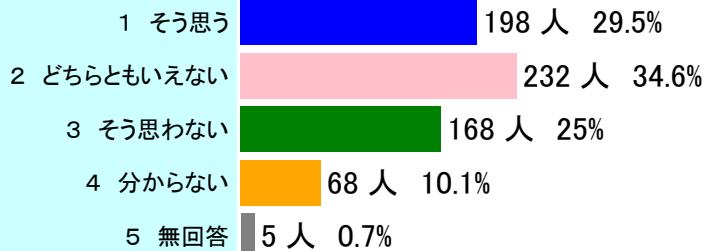
(問2-3)大型商業施設(ショッピングセンターや物販店・家電量販店など)



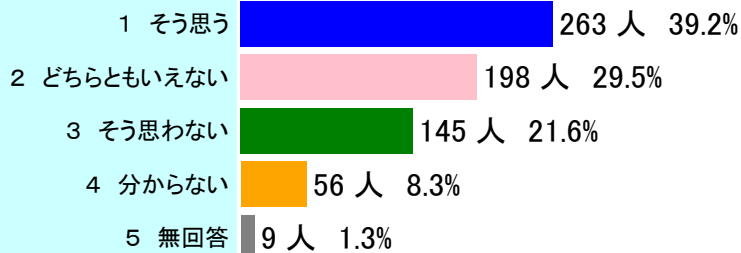
(問2-4)文化施設(博物館、美術館や図書館)



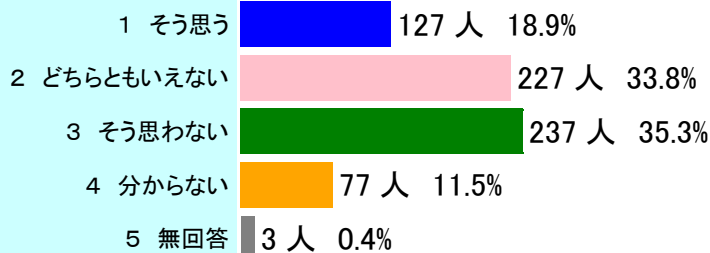
(問2-5)金融機関(郵便局や銀行など)



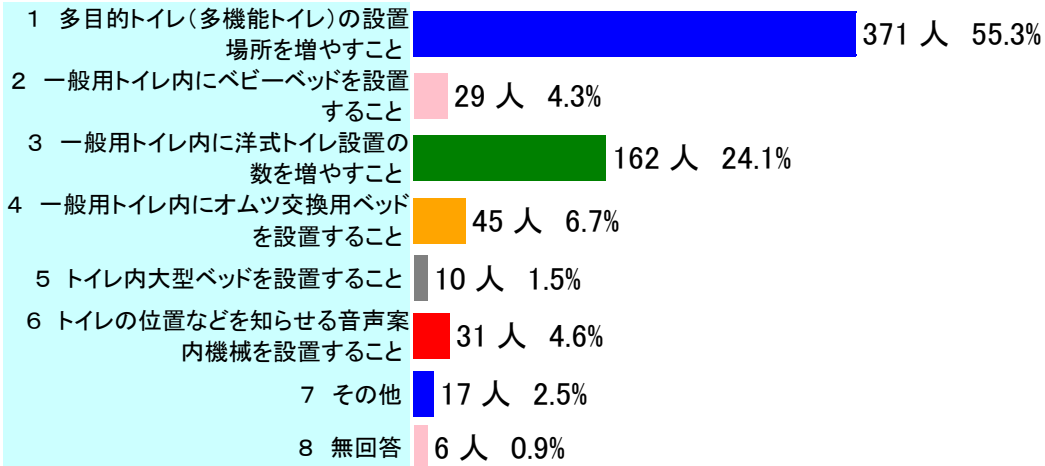
(問2-6)医療施設(小規模な個人医院や診療所)



(問2-7)観光施設(観光地等、神社など)



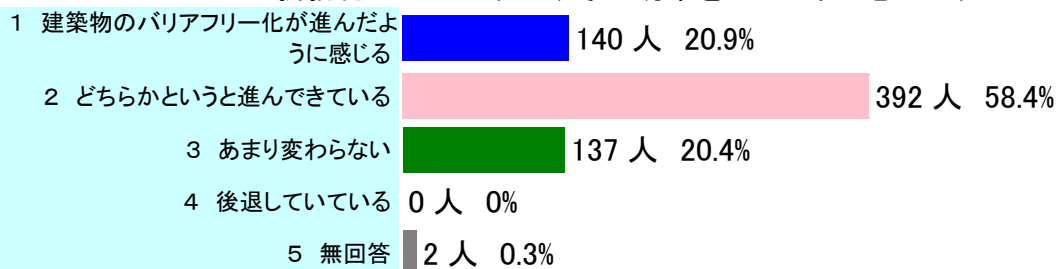
(問4)トイレのバリアフリー化について
あなたが最も望むものはどれでしょうか。一つお選びください。



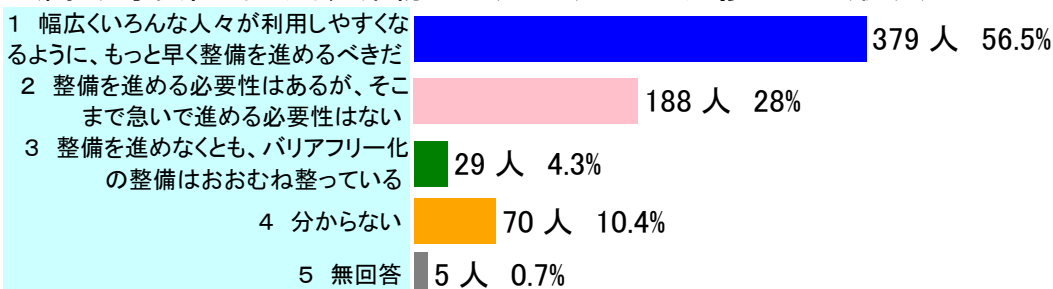
【問5】トイレのバリアフリー化についての意見(自由記載欄)

【問6】視覚や聴覚に障がいがある方に対する建築物のバリアフリー化についての意見(自由記載欄)

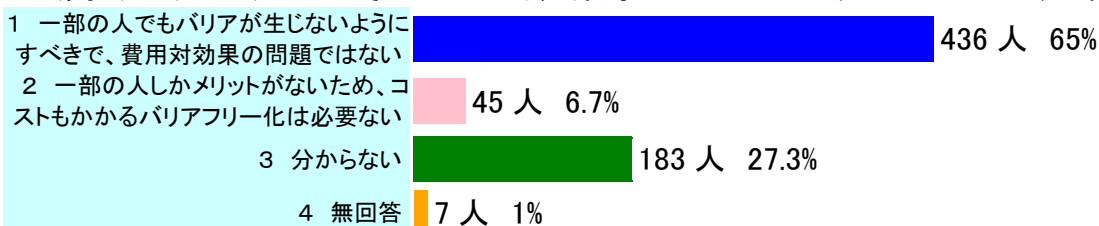
(問7)平成20年から条例で一定規模以上の建築物のバリアフリー化を義務付けていますが、その効果をどのように感じますか



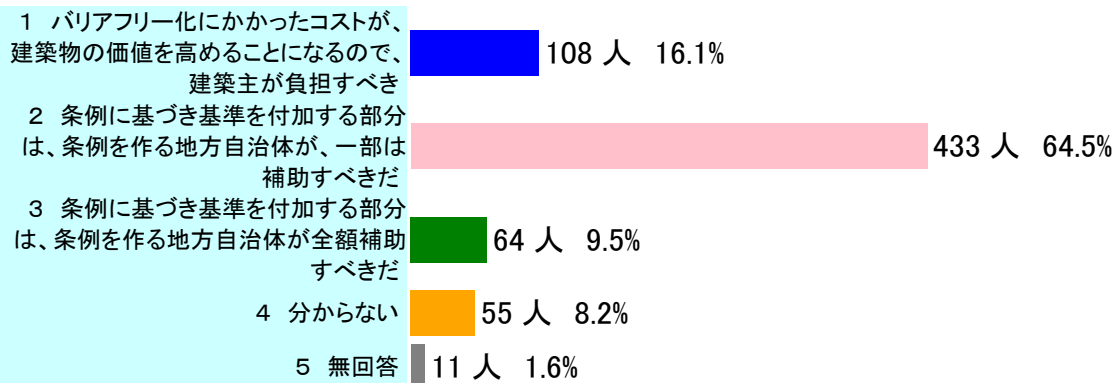
(問8)鳥取県における建築物のバリアフリー化の進捗ペース(状況)についてどう思いますか。



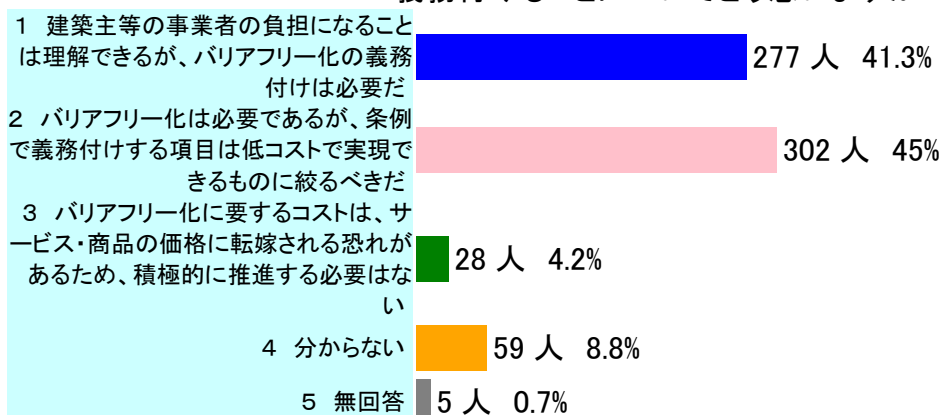
(問9)バリアフリー化とそれにかかる建築等のコストとのバランスについて、どう思いますか



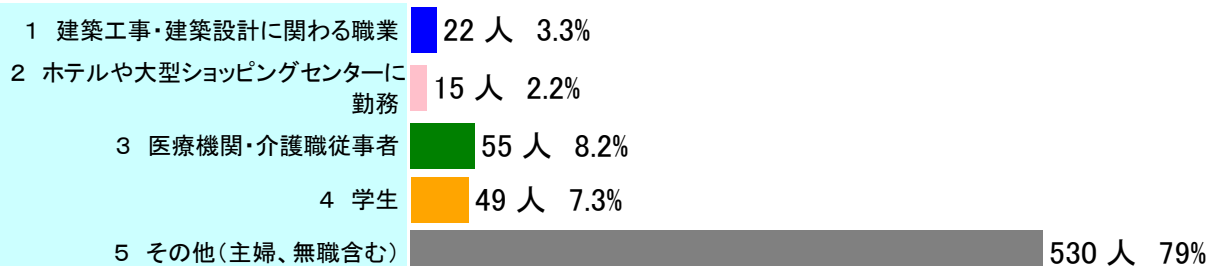
(問10)民間建築物の建築主が負担するバリアフリー化のコストについてどう思いますか



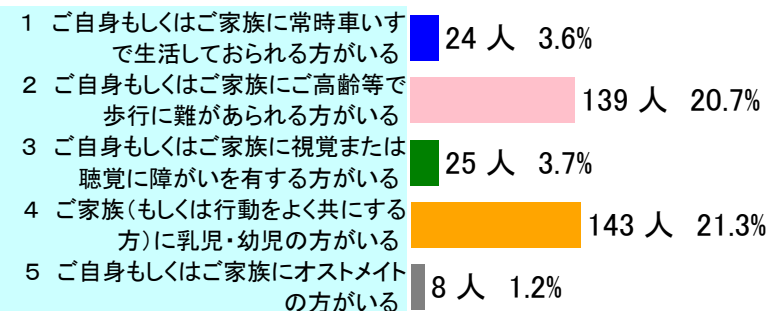
(問11)建築物(大半は民間施設)のバリアフリー化基準を条例で義務付けることについてどう思いますか



(問13)ご職業をお選びください。



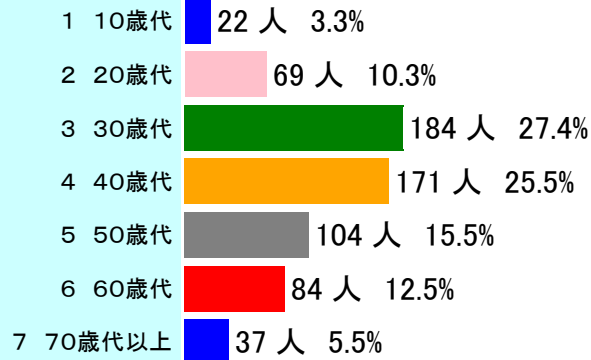
(問14)自身もしくはご家族についてお教えてください。(該当がある場合のみお答えください)



○ 回答者の性別



○ 回答者の年代



○ 回答者の住所地

